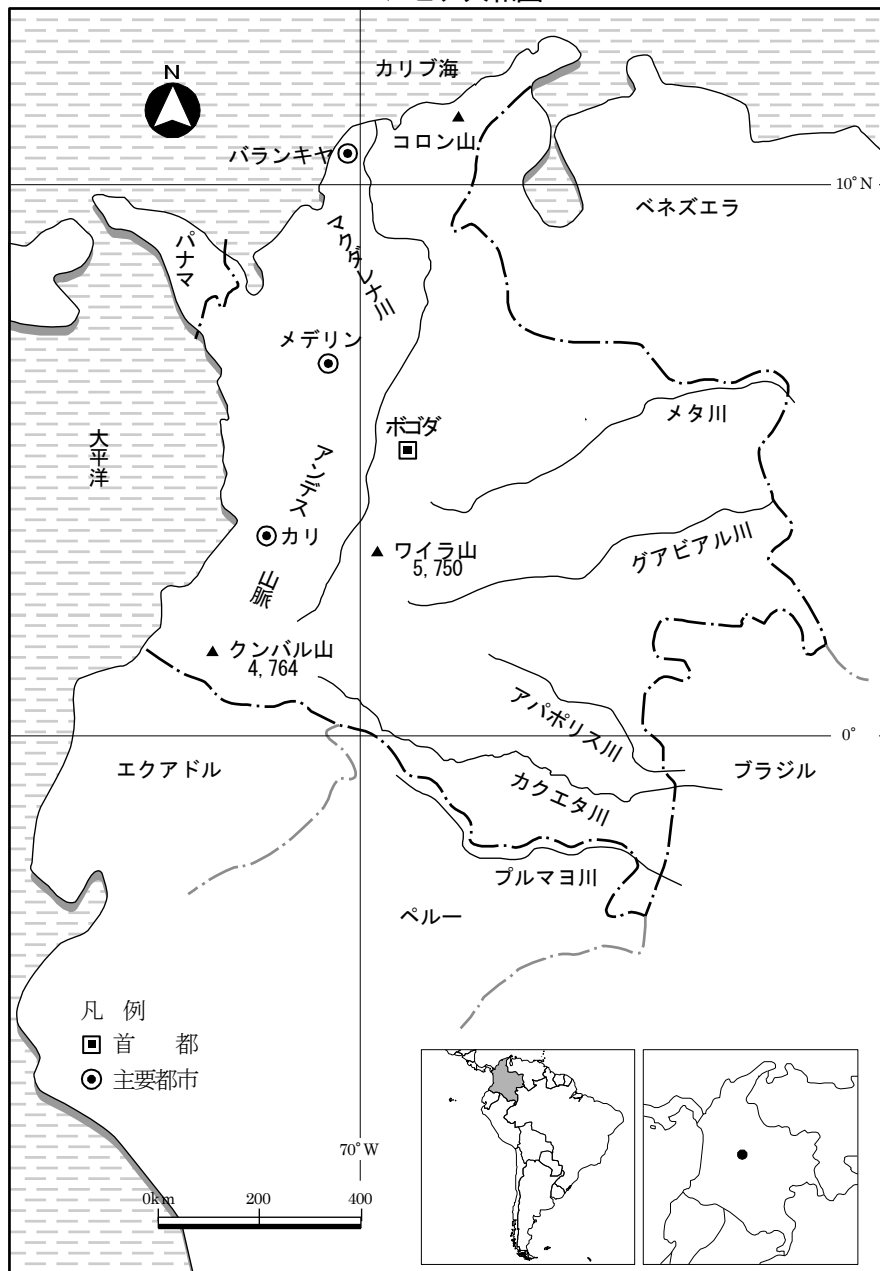


コロンビア共和国



(一般指標)

国名 (英名)	コロンビア共和国 (COL : Republic of Colombia)
国土面積 万 ha	11,389 (日本の3倍)
人口 万人	4,755 人口密度 41.6人/km ² (2012年)
首都名(英名)	ボゴタ (Bogota) 標高2,560m
首都人口 万人	725.9 (2009年)
主要言語	スペイン語(公用語)、先住民の言葉
宗教	カトリック86.9%
国連加盟年月	1945年11月
通貨単位	コロンビアペソ 1米ドル=1922..975 (2013年7月)
国民総所得 : GNI 億米 ^{ドル}	2,553 (2010年)
一人当たりGNI 米 ^{ドル}	5,510 (2010年)
主要産業	農業(コーヒー豆、バナナ、さとうきび、切り花等)
日本から輸出 億円	1,192 (2011年)(車輜、鉄鋼、一般機械、タイヤ類)
日本の輸入 億円	558 (2011年)(コーヒー豆60.0%、原油 他)
土地利用 万ha	耕地 335 (3.0%) (2009年現在)
	森林 6,060 (54.6%) (2009年現在)
	牧場・牧草地 3,919 (35.3%) (2009年現在)
度量衡	メートル法(現地単位も使われる。例:Fanegada=1.58ac)
祝祭日	1月1日元日、5月1日メーデー、7月20日独立記念日、8月7日ボヤカ戦勝記念日、10月12日、民族の日、12月8日、無原罪の聖母の日、25日クリスマス 移動祝日: 東方三博士の来訪、聖週間、主の昇天、聖体の祝日、聖ペドロ・聖パブロの日、聖母被昇天の日、諸聖人の日、カルタヘナ独立記念日
気候	南部のアマゾン川低地は熱帯雨林気候 Af・Am。山岳地域は、海拔 1,000~2,000mは温帯夏雨気候 Cw、2,000~3,000m の地域は平均気温の変化が少なく(13~16℃)、3,000m以上は平均気温 7℃、4,000m 以上はツンドラ気候。ボゴタ(標高 2,547m、年平均気温 13.4℃、雨量指数 100、年降水量 870mm)。

(森林指標)

(森林面積)

森林面積 (2010)	千 ha	60,499
森林率	%	55.0
森林変動率 (2005-2010)	%	-0.2

(森林蓄積)

森林蓄積(2010)	百万 m ³	8,982
ha 当たり森林蓄積	m ³	148

(人工林面積)

人工林面積 (2010)	千 ha	405
森林面積に対する割合	%	1.0

(森林所有者)

公的機関	%	22.0
民間	%	78.0

(炭素蓄積)

炭素蓄積 (2010)	百万トン	6,805
年平均炭素蓄積変化 (2005-2010)	千トン/年	-11

(森林・林業行政組織)

法律 No.1377 によれば、産業植林開発支援のための産業植林施策立案インセンティブプログラムの実施に関しては農業・農村開発省 (MADR) が責任を有する。環境・再生可能天然資源に関する政策を立案し、林業を含む土地利用 (産業植林については MADR と密接な連携を図る) に係るガイドライン、規則、基準を設定するのは環境・住宅・地域開発省 (MINAMBIENTE) である。

コロンビアは中南米で最も地方分権が進んだ国である。国の支出の 40% は地方政府により管理されている。森林の管理は国家環境システムの一部であり、33 の地域の自治的組織が存在し、これらの組織は管轄内にあるすべての天然資源の管理・行政、例えばコンセッションの付与、木材伐採の許可などを担っている。

(森林・林業政策)

コロンビアの主要な森林政策は 2000 年に発表された「国家林業開発計画」であり、植林及び天然林管理を奨励することを目的とする 25 年計画であり、16 のサブプログラムから構成される。2006 年初期にコロンビア議会が承認し、大統領が署名した一般森林法は 1959 年森林法にとって代わるものである。しかしながら、これは ILO 条約 169 の要件を満たしていないものとして司法により認められていない。その結果、森林に関しては、「国家林業開発計画」及び「国家開発計画 (2006-2010)」に関する 2007 年法律 No.1151 が政府の重点施策とされている。

森林の管理と保全に関する規則は次のものである。

- 1959 年森林法
7 つの森林保護地域を設定した。
- 1974 年布告 No.2811
再生可能天然資源国家規範を採用した。
- 1993 年一般環境法
国家環境システムを採用した。
- 1996 年布告 No.1791
森林収穫規制を採用した。

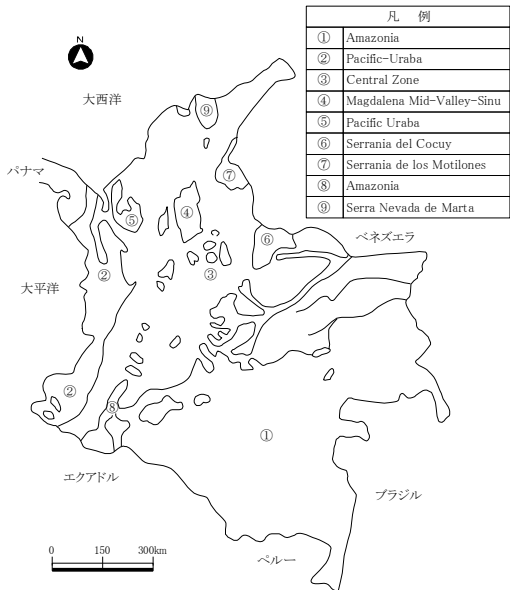
2010 年法律 No.1377 は保護林において木材生産のための人工林の使用を許可した。

効率性及び競争性を増すため人工林の所有者がかげらの植林地を伐採するために必要とされる伐採許可を削除した。天然林から生産された丸太輸出を規制する制度は 15 年以上継続しているが、人工林から生産された丸太輸出は可能となる。

(森林の現況)

FRA2010 によれば、2010 年現在のコロンビアの森林面積は 6,050 万 ha であり、国土面積の 55%を占める。大部分が天然林であり、その面積は約 6000ha、人工林は 40 万 ha である。1990 年から 2010 年の間に森林面積は年平均 10 万 ha 減少し、年平均減少率は 0.17%である。

コロンビアの森林植生をみると、アマゾン地域では *Hevea brasiliensis*、*Manilkara bidentata*、*Carapa* sp.、*Iryanthera* sp.を主とし、クワ科、アカテツ科、センダン科、ニクズク科、クマツヅラ科、マメ科、ウルシ科、オトギリソウ科、シクンシ科などの樹種で構成する天然林が分布し、太平洋地域では *Iryanthera juruensis*、*Cammoperma panamensis* の純林が多く分布している。また、これら両地域以外の地域では *Cariniana pyriformis*、*Swietenia* spp.などの高価な樹種の分布もみられる。



コロンビアの地域別天然林分布図

天然林の主要樹種は、次のとおりである。

- *Hevea brasiliensis* (Caucho) …………… トウダイグサ科
- *Manilkara bidentata* (Balata) …………… アカテツ科
- *Iryanthera* spp. (Cumula) …………… ニクヅク科
- *Carapa* spp. (Andiroba) …………… センダン科
- *Virola* spp. (Sangredetoro) …………… ニクヅク科
- *Phizophara brevistryla* (Mangle rojo) …………… クマツヅラ科
- *Avicennia marina* (Mangle negro) …………… クマツヅラ科
- *Laguncularia racemosa* (Mangle blanco) …………… クマツヅラ科
- *Mora megistosperma* (Nato) …………… マメ科
- *Pterocarpus officinalis* (Bambudo) …………… マメ科
- *Camposperma panamensis* (Sajo) …………… ウルシ科
- *Symphonia globulifera* (Machare) …………… オトギリソウ科
- *Calophyllum* spp. (Marria) …………… オトギリソウ科
- *Terminalia amazonia* (Roble) …………… シクンシ科
- *Pachira aquatica* (Zapatolongo) …………… パンヤ科
- *Iryanthera juruensis* (Cuangare) …………… ニクヅク科

コロンビアの地域別天然林分布図

- *Inga* spp. (Guabos) …………… マメ科
- *Castilla elastica* (Caucho) …………… クワ科
- *Cedrela odorata* (Cedro) …………… センダン科
- *Swietenia* spp. …………… センダン科
- *Trema micronata* (Cargadero) …………… ニレ科
- *Vismia guianensis* (Sangre de gallia) …………… ニクヅク科
- *Carapa guineensis* (Tangare) …………… センダン科
- *Nectandra* spp. (Chandul) …………… クスノキ科
- *Brosimum utile* (Sande) …………… クワ科
- *Tabebuia rosea* (Garza) …………… ノウセンカズラ科
- *Aniba perutilis* (Chachajo) …………… クスノキ科
- *Nectandra* spp. (Cha-cha chajillo) …………… クスノキ科
- *Cinchona* spp. (Quina) …………… アカネ科
- *Ficus* spp. (Lechero) …………… クワ科
- *Spondias mombin* (Horo arisco) …………… ウルシ科
- *Prioria copaifera* (Cativo) …………… マメ科
- *Ceiba pentandra* (Ceiba) …………… パンヤ科
- *Ochroma lagopus* (Blaxo) …………… パンヤ科

注：() は地方名である。

(人工造林)

コロンビアにおいて事業的に人工造林が始められたのは、1970年代に入ってからで約40年しか経っていない。コロンビアで人工造林が増大しなかったのは、天然林が豊富に分布していたからである。しかし、近年は政策の重点の一つに人工造林の推進が掲げられ、また、製材、合板、紙パルプ用材として需要が増大したこと、人工造林が良い生育を示し、産業用造林としての条件ができてきている。

主要な造林樹種は次のとおりである。

- ・マツ類 (*P. cairibae*, *P. oocarpa*, *P. patula*) 全造林面積の55%を占める
- ・ユーカリ類 (*E. globules*, *E. camaldlensis*, *E. urophylla*) 20%
- ・アカシア類 (*A. mangium*)
- ・メリナ (*Gmelina arborea*)
- ・チーク (*Tectona grandis*)
- ・在来固有種 (*Cordia alliodora*, *Bombacopsis quinata*, *Tabebuia rosea*, *Alnus acuminata*, *Lafoensia speciosa*, *Quercus humboltii*)

政府は造林面積、特に木材生産林を、今後5百万haまで拡大したい意向である。造林方法については特にシステムティックな方法は見られない。

(林産業)

木材生産に関する規制は国有地と民有地で異なる。国有地では伐採許可又はコンセッション契約により行われ、民有地では特別の許可が必要になる。天然林では過去25年間コンセッションは付与されていない。管理手続きを含む伐採許可が広く天然林では利用されている。森林が他の土地利用形態に転用されたり、インフラ開発のために利用される時には、法律は何らかの補償措置、例えば保護林の造成などを要求している。

2010年における産業用木材生産量は2.4百万m³である。ほとんどの木材生産は国内用である。薪材生産量は8-10百万m³であり、過去10年間このレベルである。

原木生産量の推移と木材貿易量は以下の表のとおりである。

原木生産量の推移

単位：千 m³

年次	薪炭用	用 材				原木生産量 合計
		製材用、 単板用	パルプ用	その他	合計	
1985	6,480	2,162	551	408	3,121	9,601
1990	6,766	2,686	589	408	3,683	10,449
1995	7,055	1,706	589	150	2,445	9,500
2000	10,893	1,296	813	55	2,164	13,057
2006	8,833	674	842	121	1,637	10,470
2010	8,826	1,062	825	503	2,390	11,216

注：その他は杭、マッチ、ポスト、柵 など

木材貿易量（2010）

単位：数量万 m³、金額万ドル

製 品 名	輸 入		輸 出	
	数 量	金 額	数 量	金 額
丸 太	—	—	4.1	1,178.1
製 材	1.0	632.1	2.6	1,113.5
合 板	2.6	2,420.8	0.2	233.2

出典：ITTO, 2011, Status of Tropical Forest Management